

新発田・北蒲原 道徳部

部長 津野 光世（住吉小）

1 研究主題

生活に根ざした道徳教育をめざして

2 研究主題設定の意図

小学校学習指導要領には、道徳教育の目標として「未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤として道徳性を養う」ことが示されている。子どもたちが基本的な生活習慣や規範意識、自尊感情や他者への思いやりなどの道徳性を養うためには、生活に根ざした道徳教育を進めていくことが大切である。そこで研究主題を「生活に根ざした道徳教育をめざして」と設定し、生活に根ざした内容を取り上げ、子どもたちの道徳性を育てていく道徳授業を研究していくこととした。

3 事業の実際

○ 5月 第1回目専門部会

道徳部会の計画の作成

- ・ 部長・副部長の選出
- ・ 研究主題の設定
- ・ 第2回目・3回目の内容決定

○ 6月 第2回目専門部会

講演会

- ・ 講師 新潟市立大形小学校 渡邊 泰治 様
- ・ 演題 「喜びと夢のある道徳授業」
～魅力的な人・仲間との出会いを通して実践意欲を育む～
- ・ 会場 住吉小学校

○ 11月 第3回専門部会

研究授業

- ・ 授業者 石塚 晃一 教諭（新発田市立猿橋小学校）
- ・ 主題 自分にできることを見つめて—道徳内容 高学年4—(1) 公德心
- ・ 資料名 「すわっていること」
出典：「道徳5年 きみがいちばんひかるとき」光村図書
「マイルール」より 一部改作
- ・ 対象 5年1組 37名
- ・ ねらい 資料を通して子どもたちが自分の生活を見直し、自分のできることを増やしていき、社会の一員として積極的に役立とうという気持ちをもたせる
- ・ 指導者 渡邊 泰治 様（新潟市立大形小学校）